



ご案内と当院紹介のご依頼

# アルツハイマー病新規治療について

水戸済生会総合病院 脳神経内科  
主任部長 木村 健介

2023年12月、認知症抗体医薬「レカネマブ」（販売名：レケンビ（R）点滴静注）が国内で保険承認、販売開始されました。これに伴い当院でも体制を整備し、新規治療が行えることとなりました。これまでの薬と違って認知症の原因となる脳内に貯まったアミロイドβというタンパク質を除去することによって症状の進行を直接抑制する効果が期待出来る薬で、「アルツハイマー病による軽度認知障害（MCI）」と「アルツハイマー病による軽度の認知症」の方が対象となります。

以下に該当する患者様がいらっしゃいましたら、当院の脳神経内科へぜひご紹介ください。

**本薬剤の使用にあたり、厚生労働省から「最適使用推進ガイドライン」が発出され、対象者、使用方法などが厳格に規定されております。そのため、投与に至らない場合もございますので、あらかじめご了承ください。**

最適使用推進ガイドライン 投与対象となる患者（一部抜粋、改変）

- MRI 検査が実施可能。（例：金属を含む医療機器を植込み又は留置した患者は不可）
- 認知機能評価 MMSE スコア 22 点以上
- 臨床認知症尺度 CDR 全般スコア 0.5 又は 1
- 上記を確認した上で、アミロイド PET 又は脳脊髄液（CSF）検査を実施し、Aβ 病理性を示唆する所見が確認されていること。

◎ 上記ガイドラインを踏まえ、ご紹介いただきたい患者様は下記の通りです。

- ☑軽症（生活に支障がない程度）の認知機能障害
- ☑2週間に1回の通院が可能であること
- ☑患者様本人と、ご家族もしくは介助者との来院が可能であること
- ☑認知症以外の症状は落ち着いており、認知症治療の意義がある方

お問い合わせ・ご予約  
地域医療連携室

TEL：029-254-9067  
FAX：029-254-1637  
(直通)

※ 診療情報提供書に“レカネマブを希望”との明記をお願いいたします。

※ 完全予約制となっております。かかりつけ医より地域医療連携室を介して、ご予約をお願いいたします。



## 治療について



アルツハイマー病は、脳におけるアミロイドβ (Aβ) と呼ばれる蛋白質の異常が病気を引き起こすと考えられています。正常な状態では、Aβは産生されてもバラバラのまま脳から取り除かれますが、アルツハイマー病の人ではかたまりを作って脳の中にたまります。このかたまりが神経細胞を障害することで、神経細胞の働きが落ち、数が減って、脳の萎縮が進むと考えられています。

レカネマブは「アルツハイマー病による軽度認知障害 (MCI)」と「アルツハイマー病による軽度の認知症」に対する薬です。主としてAβプロトフィブリルに作用します。

Aβプロトフィブリルは、Aβがかたまりになる途中の物質で、レカネマブがAβプロトフィブリルにくっつくことで、異物を排除する細胞のミクログリアを引き寄せ、Aβを取り除きます。その結果、脳のAβが減り、アルツハイマー病の進行が遅くなることが期待されています。

アルツハイマー病の薬には、今出ている症状を緩和するための薬と、病気の進行を遅らせるための薬があります。

レカネマブは、病気の進行を遅らせるための薬で、認知機能の低下をゆるやかにすることが期待されています。

